

東大病院検診部 脳血管ドック 「受診者向けご案内」

検査の目的

脳血管ドックは無症状の人を対象に、MRI/MRAによる画像診断により無症候あるいは未発症の脳および脳血管疾患あるいはその危険因子を発見し、それらの発症あるいは進行を防止しようとするものです。主な発見の対象は下記になります。それらの結果について判定と指導を行います。

- 1) 無症候性脳梗塞
- 2) 脳卒中の危険因子
- 3) 未破裂脳動脈瘤
- 4) 無症候性頭蓋内および頸部血管閉塞・狭窄
- 5) 高次脳機能障害
- 6) その他の機能的、器質的脳疾患

なお、MRI/MRAは一度の検査で同時に行います。MRI(magnetic resonance imaging、磁気共鳴映像法)は頭を輪切り状にした断面の画像を描出します。MRAはmagnetic resonance angiography(磁気共鳴血管造影法)は頭の中の血管の状態を描出します。

検査対象

脳血管ドックの積極的な対象は中・高齢者です。特に、脳卒中の家族歴、高血圧、肥満、喫煙などの危険因子を有する人はハイリスク群に相当しますので、積極的な受診が勧められます。

検査の限界

MRI/MRAは強力な磁場と電波を使って、人体内の水素原子核の状態をみることで、人体の任意の部位から信号を収集し、信号の強さに応じて画像化する検査です。通常、全く痛みもなく、体に害はありませんが、次の人々は検査自体を受けることができません。

- 1) 体内に金属や電子機器が入っている人(注)
- 2) 妊娠の可能性のある人
- 3) 閉所恐怖症の人

<その他の注意点>

検査中は以下のものをはずしていただくことがあります。

コンタクトレンズ(必ず保管容器または予備をご持参ください)

ニトロダームTTSなどの貼付薬

義歯、かつら、金属のついた衣服、アクセサリ、磁気カード、お化粧品など

なお、ご不明な点をご遠慮なく検診部までお問い合わせ下さい。

平成19年11月

東大病院検診部

03-5800-9033

注)

検査が受けられない人（禁忌）

電氣的、磁氣的もしくは機械的に作動する体内埋込物のある人（具体例：心臓ペースメーカー、体内神経刺激装置、骨成長刺激装置、体内自動除細動器、人工内耳など。）

帯磁性の体内埋込物のある人（具体例：明らかに非磁性体であると術者が確認済み以外の頭蓋内動脈クリップ）

検査に注意を要する人（警告または注意項目）

体内に手術用クリップもしくはその他の MRI の磁界によって位置が変わる可能性のある帯磁性物品が埋め込まれた人（具体例：義歯、クリップ、シャント、ステント、カテーテル、人工関節、ワイヤ、避妊リング、弾片などが体内に存在する可能性のある人、現在あるいは過去に金属を研磨する仕事に従事していた人）

眼球もしくはその周囲に導電性または帯磁性の細片の埋め込まれている可能性のある人（具体例：義眼、眼球内に金属粉塵が入っている可能性のある人）

入れ墨によるアイライナーや帯磁性物質の化粧品の使用者（具体例：入れ墨、パーマメントアイライン）

代謝障害性心臓病、発熱、発汗障害を有す人

心停止の可能性が通常より多い人

発作もしくは閉所恐怖症反応の可能性のある人

無意識状態、深い沈静状態、錯乱状態及び十分な意思の疎通が期待できない人

胎児及び乳幼児

コンタクトレンズを装着している人（検査前に外していただくこととなります）